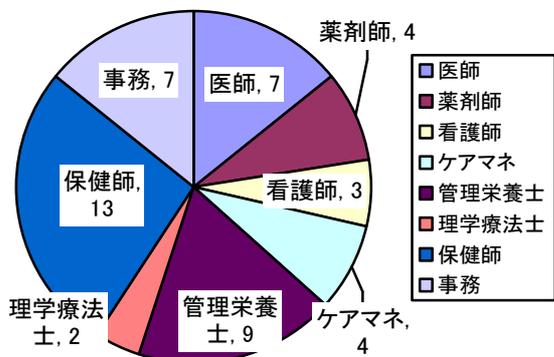


蒲郡市糖尿病性腎症重症化予防連携会議・研修会 (2019.3.2)

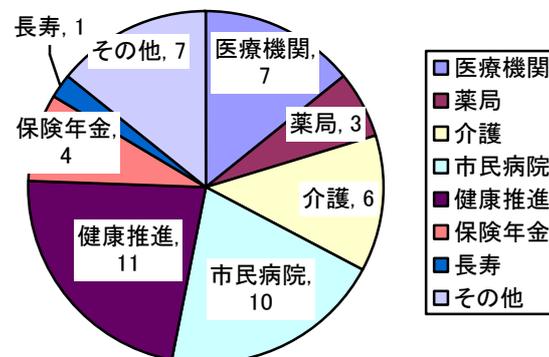
蒲郡腎臓病ネットワーク 参加者アンケート結果

参加 49 名 アンケート回収 29 名

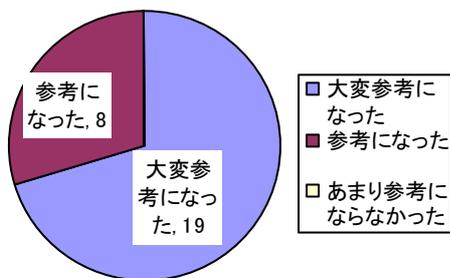
1 職種



2 所属

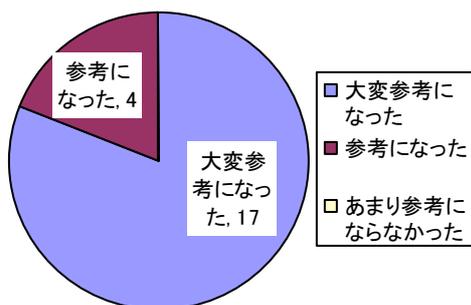


2 今回初めて蒲郡市の医療、保健、介護の関係者の方にご参加いただき、レクチャーとグループワークを実施しましたが、全体を通していかがでしたか？



- 様々な立場にある人と話ができ、違う視点の考えを知ることができた。
- 現状を知ることができた。
- 市内の医療、介護、行政の連携の大切さを改めて感じることができた。(5人)
- 様々な立場にある人とお話ができ、違う視点の考えを知れてよかった。
- 多職種連携には顔を見て話をするのが一番だと思った。

3 一部はそれぞれの立場からレクチャーがありましたが、どの程度参考になりましたか。



それぞれの立場からの話について感想や意見がありましたら記入をお願いします。

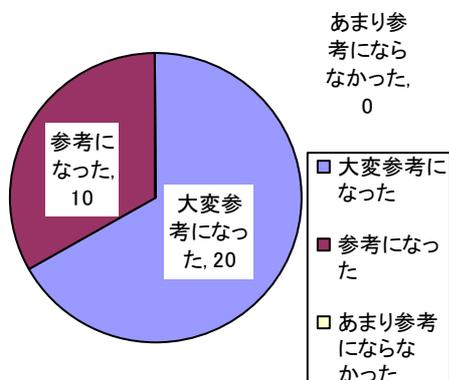
第一部	感想・ご意見
かかりつけ医の立場から	<ul style="list-style-type: none"> • かりつけ医なら安心して相談でき、定期受診につながると思った。 • 専門医だけが対応するのではなく、医師会全体で取り組んでいる現状がわかった。 • 通院されている患者さんの現状が理解でき、今後の関わりの参考となった。 • 患者数がとても多いのでネットワークを立ち上げて大変そうと思います。予防がとても重要で悪くしない、医療機関にかからないですむようにすることが大切と思いました。 • 糖尿病がとても多くなっており、みんなで取り組んでいくことが大切であると分かった。 • 連携の重要性を理解できました。 • 主治医との信頼関係の大切さを感じました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医以外でも訪れている事が良く理解できた。 ・かかりつけ医の先生の協力、ご理解が糖尿病性腎症の予防について重要な役割と感じました。また専門医の先生との連携は重要と感じました。 ・専門医でなくても糖尿病は体への影響が大きいので、かかりつけ医からのアプローチも重要だと感じた。 ・かかりつけ医、開業医が専門科医でなくても糖尿病が増加している現状ではみていかないといけないこと、そのためにもネットワークが必要だと知ることができました。 ・かかりつけ医として、糖尿病や腎機能の悪い人を診ていかなければならないという話は非常に興味深かった。ネットワークで連携していけるとどの部門も困り感が減るのかなと思った。 ・かかりつけ医にかかっている糖尿病患者さんの実状や CKD 患者さんをしっかり病診連携していかなければならない現状を再認識することができた。また、今後、基本となる糖尿病管理が市内どのかかりつけ医にかかってもしっかりと行ってもらえるようになるといいと感じました。
<p>専門医の立場から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡腎臓病ネットワークの仕組みがよくわかった。 ・腎症の状態がどういうものか少しわかった気がする。 ・先生同士の連携なら簡潔にできると思いました。 ・腎臓患者の最新の知識を得ることができた。 ・透析の患者が増えれば医療が増えますが、透析中の患者に対してどのように治療を考えるのがいいのでしょうか。 ・透析が近づいてくる前の紹介のタイミングが大切であると分かった。 ・市内の専門医が2施設しかないのおどろいた。(市民病院は除く) ・早期紹介もあれば、専門医が少なくパンクしてしまう。 ・病気、機能の理解が深まりました。 ・ある程度のクレアチニン値でないと、人数が多くなり診れなくなってしまう。 ・患者さんがどのレベルにあるのかを把握していく事が大切と思った。また、かかりつけ医と専門医でできる事を理解し、専門医への相談受診のタイミングを理解していくことが大切と思いました。 ・糖尿病患者に対する専門医の少なさに驚いたと同時に専門医だけでなく地域全体で支えていく必要があると感じた。 ・腎臓病がどういうものなのかとともに、かかりつけ医と専門医が蜜に連絡をとりながらみていくことの必要性を知ることができました。 ・腎機能の悪い人の数が多いので、専門医にお願いするボーダーを知れてよかった。行政の立場で関わっているとどのような方を専門医につなぐ PUSH をすべきか分からないところがあったので。(かかりつけ医に専門医に聞いてみたらという伝え方をしています) ・新たに出てきた DKD の概念など最新の CKD ガイドラインの概要や身体障害認定基準の変更点について知ることができ、勉強になりました。 ・市内のかかりつけ医と専門医の連携の仕組みについてしっかりと把握することができました。 ・村上先生の話がとてもわかりやすく、連携パスが動くといいと感じた。
<p>市民病院の立場から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重症化予防に向けて手厚いプログラムがなされていることを知りました。 ・病院の現状から、今後の展開について理解できた。 ・薬、食事、運動を指導しても良くならない患者様も数多くいます。定期的に入院してコントロールするのもひとつ方法と思いますがどうでしょうか。 ・市民病院の体制や内容が分かった。 ・定期的に教室開催の必要を感じた。 ・入院退院でお世話になっています。退院後の生活の質を高め維持できると良いと思う。 ・教育という難しさがある。特に市内は高齢化であり中々教育は難しい事が理解できた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院では細かく診療されていることを知った。合併症検査が細かく行われており、また経過をみていけるため充実していると感じた。また指導内容も整っており、運動指導も個別に合わせてでき良いと感じた。地域で重症化している人を上手につなげていけるとよいと思う。 ・市民病院、専門医、かかりつけ医、行政それぞれが連携して糖尿病対策に取り組む必要性を感じた。 ・市民病院の現状、ネットワークでの取り組みを知ることができました。 ・市民病院独自のパスがあったり、DMの支援をしているという話が聞けてよかった。 ・4月より開始される糖尿病性腎症重症化予防について、具体的にどのような療養支援をされていくのか具体的に知りたと思いました。
行政の立場から	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの取り組みから今後の方向性について、細かく説明があり大変理解できた。 ・健康増進がブームですが自分で健康に気をつける人、気をつけないで病気になる人となんらかの差をつけてもいいのではと思います。例えば市民税の負担額に差をつける、医療費の負担で差をつけるなど。 ・今までの取り組み経緯や背景がとても分かりやすかった。 ・医療費はどれくらいかかっているのか減らせると良い。 ・行政の活動を知ることであらう方法があればすすめていく事ができる。 ・普段他の疾患でHP受診していながら糖尿病治療にいたっていない人は受診につなげていきたいと思った。医師受診しているから大丈夫という人は多い、かかりつけ医の先生が重要な役割をになっていると感じた。 ・状態が悪くなる前に行政が重症化予防対策をさらに進めていく必要があると感じた。 ・糖尿病重症化予防の取り組みについて、現状とともに再確認することができました。 ・保健師として行政の場にいるにも関わらず、実際にどのようなことをしているのか分からなかったため、今回知ることができてよかった。運動サポートセンターに来られる方で重症化で支援している方もみえるので、私自身知識を付けたいと思った。 ・重症化予防プログラムについて理解を深めることができ、行政の役割を明確化することができた。

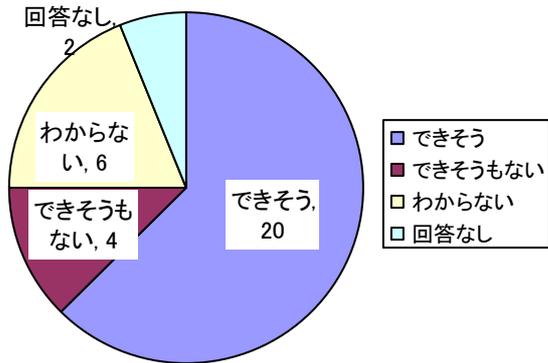
4 二部のグループワークでは多職種の方とディスカッションしました

(1) 内容はいかがでしたか？



- ・私の立場では考えつかなかったことが意見として出てきたので面白かった。
- ・他職種間のそれぞれの立場で日々感じていることなどの情報共有ができてよかった。ただ、初めてということもあり、現状を話し合うことで盛り上がり、題点を一つに絞っていくことが難しかったです。回数を重ねていけたらいいなと思った。
- ・多職種の関わりができました。
- ・多職種とのディスカッションでそれぞれの取り組みがわかり、今後の活動の参考になりました。

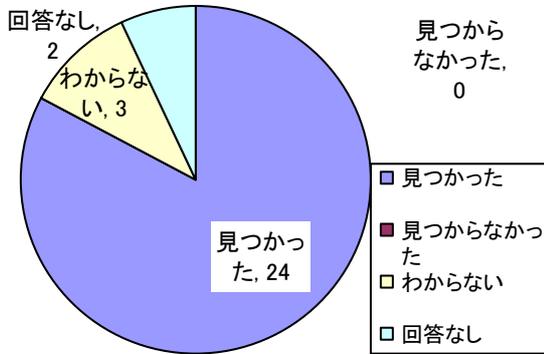
(2) 今後の連携につながりそうですか？現在の連携について課題などありましたら記載してください。



<理由>

- ・顔が見え、話のできたので、皆で連携していけるといいと思った。(2名)
- ・関わる職種が増えていく分、患者さんのサマリー等情報共有を行っていくのか。
- ・どの施設でも統一した水準の支援が行えるように統一したマニュアルみたいなものがあるとよい。
- ・連携も大切だが、リーダー、業務外など大変だと思う。

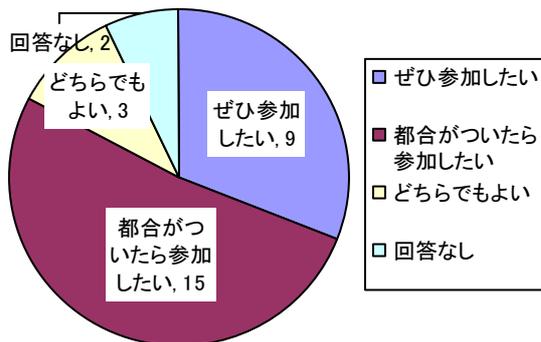
5 今回の会を通じて蒲郡市のDKD、CKD 対策への課題やヒントが見つかりましたか？



<理由>

- ・皆で連携し、早期発見、早期改善のため取り組んでいきたいと思った。PHNとして私がどういったことができるか考えていきたい。
- ・多職種の関係を深めることによって腎機能が低下した患者さんへのよい支援、介入ができると改めて感じた。まだまだ課題をなっている点が多いと思うので、この会を通じて問題解決となる連携を深めていけるといいと思った。
- ・予防が重要、啓蒙活動を考えていく。
- ・蒲郡市の取り組みが理解でき、自分の立場から今後の活動につながる事が理解できた。

6 今後も定期開催したいと思いが、今後も参加をしていただけますか？



7 第2回の会議を開催するにあたり、都合がつきやすい曜日や時間

月	2	午前	2
火	2	午後	9
水	2	夜	3
木	1	特になし	10
金	1	回答なし	7
土	11		
日	3		
特になし	11		
回答なし	4		

8 第2回以降とりあげて欲しい内容や深めたい内容

- ・ネットワークを進めていく中で出てくる課題や解決方法
- ・事例検討・ケース事例紹介・経年変化からみる介入ポイント
- ・薬局、訪問看護、介護施設の日頃の業務内容や課題と考えている
- ・腎硬化症への知識

【希望講師】 名古屋大学 安田 宜成 先生
 筑波大学 山縣 邦弘 先生
 京都医療センター 坂根 直樹 先生

ご協力ありがとうございました